

THE KILLER WHALE TIMES

2022年度 対北大定期戦・茨戸レガッタ号

皆様いかがお過ごしでしょうか。こんにちは、タイムス班の佐藤です。

去る6月12日（日）に「第60回北海道大学対小樽商科大学漕艇定期戦」（以下北大戦）を開催することができました。

今年は有観客での開催ということで、茨戸まで応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。

結果は、新人男子舵手付きフォアは見事優勝、対校男子ダブルスカルが準優勝となりました。

また、6月25、26日には3年ぶりとなる「第50回朝日茨戸レガッタ」が開催されました。

残念ながら両日強風のため中止となりましたので、行えたレースのみ結果をお知らせいたします。

皆様、応援誠にありがとうございました。



【北大戦】

RACE RESULTS

○新人男子舵手付きフォア(1000m レース)

C:田鎖 龍汰(1) S:本庄 涼(1) 3:川内 賢志郎(1) 2:齋藤 友悠馬(1) B:小高 亮太郎(1)

| レーン | クルー名 | 着順 | タイム |
|-----|--------|----|--------|
| 1 | 小樽商科大学 | 1 | 4:24.2 |
| 2 | 北海道大学 | 2 | 4:25.3 |



○対校男子ダブル(1000mレース)

S:岩谷 旭(4) B:若菜 海斗(2)

| レーン | クルー名 | 着順 | タイム |
|-----|--------|----|--------|
| 1 | 小樽商科大学 | 2 | 4:02.5 |
| 2 | 北海道大学 | 1 | 3:52.3 |



写真は 2021 年度卒根間様より頂きました。

Comment

○岩谷 旭(4)

今回の北大戦で対校ダブルスカルの整調に乗りました、4年目岩谷です。

ハプニングがあり 2000m レースが 1000m に変更になった今回のレースは惨敗でした。10 秒差をつけられてしまいました。

去年まで対校として舵手付きフォアに乗っていた私としては予想外の、漕手が 4 人揃わないという緊急事態のためダブルスカルで出場するという流れになりました。

結果は準優勝で漕ぎも決して褒められたものではありませんでしたが、全てを悲観するつもりはありません。

今年私はインカレにシングルスカルで出場予定のため、早い時期からスカルに触れられたこと、より安定感のあるダブルスカルで技術の向上に力を入れられたこと。まだスカラーとしてのキャリアが浅い私にとって北大戦の期間はまたとない貴重な期間であったと思います。

インカレまであと 3 ヶ月を切りました。時間がありませんがベストを尽くせるように残りの期間戦って行きますのでよろしくお願いします。

○若菜 海斗(2)

今回の北大戦で対校ダブルスカルのバウに乗った 2 年目の若菜です。

去年は新人フォアで北大戦に参加しましたが、今年是对校としてダブルスカルのバウに乗りました。経験が少ない自分が艇速に貢献するにはどうすればいいのかを自分なりに考え、また岩谷主将からアドバイスを貰い日々練習に取り組んできました。今回のレースでは相手は力量・エルゴタイム共に圧倒的に格上であり、そのクルーに勝つためにはエルゴタイムも技術も劣る自分がいかに食らいついていけるかに掛かっていました。

当日のレースは 2000m から急遽 1000m に変更になり、相手に 10 秒差をつけられて大敗しました。スタート直後から 300m 位までは強い横風により北大も蛇行していたため並んでいましたが、中盤から終盤にかけて不安定になり、キャッチのかかりも弱くなって結果的に 10 秒も差をつけられてしまいました。

正真正銘の実力負けです。自分の練習に対する姿勢も絶対的な量も全く足りていなかったと思います。練習の段階でもっと詰めておけばこの差は縮められたのではないかという悔しさと、それ以上に格上相手に試合前から緊張で萎縮してしまっていたということが悔しく、四年目最後の北大戦だった岩谷主将に申し訳ないです。

応援してくださった OBOG の方のご期待に添える結果を出せず、申し訳ありませんでした。

この敗北という結果をただ受け入れるのではなく、経験として今後の練習に活かしていきたいと思っておりますので、これからも応援よろしくお願いいたします。

○本庄 涼(1)

今回の北大戦で新人フォアの整調に乗りました1年日本庄です。

入部して初のレースで緊張はしていましたが、それよりもワクワクや楽しみという気持ちが大きかったです。後悔のないように全力で漕いで、楽しむ！それができたのが個人的には一番の収穫です。全くもって上手な漕ぎでもないし、直さなければいけないところだらけなのはもちろんわかっています。ただ、僕たちは一番大事などとてもとても熱い気持ちを持っています。どんなときもその心を忘れずに、必死さを見せ続けていきたいと思っています。

今回の応援ありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします。

○田鎖 龍汰(1)

北大定期戦の新人フォアでcoxとして出場した田鎖です。

この北大定期戦は一年生にとっては初めての大会でした。結果としては一秒差での勝利となり、初めての試合で勝利できたことはとても嬉しかったですし、最後まで懸命に漕いでくれた漕手たちには感謝の気持ちでいっぱいです！レース展開は、残り200m地点まではずっと負けていましたが、漕手の気合や執念で徐々に追いつき最終的には勝利したという展開です。課題が多く残りました。全員の課題としてはスタート時に斜めの状態でスタートしてしまったり、腹切りしてしまったことなどです。他にもいくつかありますが今後練習を重ね、修正しながらより艇速をはやくしていきたいと思っています。自分自身としては他レーン侵害をしないように気をつけて舵を取ったり強調を掛けていましたが、時々北大の艇に近づきすぎることもありました。また、もっと漕手が全力を出せるような声掛けをしていければいいなと思います。

今後は出た課題を修正しつつ、今回勝った喜びを何度も得られるように引き続き練習を重ねていきます。ありがとうございました！



【茨戸レガッタ】

RACE RESULT

○男子シングルスカル

S: 岩谷 旭(4)

予選1組

| レーン | クルー名 | 着順 | タイム |
|-----|----------|----|---------|
| 1 | 安永(北大) | 2 | 4'19"24 |
| 2 | 荒殿(宮崎大医) | 3 | 4'39"96 |
| 3 | 岩谷(商大) | 1 | 3'57"67 |

○男子ダブルスカル

S: 岩間 陽亮(2) B: 若菜 海斗(2)

予選1組

| レーン | クルー名 | 着順 | タイム |
|-----|-----------|----|---------|
| 1 | 釧工/函水 OB | 4 | 3'49"73 |
| 2 | オムニ歯科 A.C | 2 | 3'36"83 |
| 3 | 小樽商大 | 3 | 3'44"14 |
| 4 | オリンピック'S | 1 | 3'28"14 |

○女子シングルスカル

S: 佐藤 虹歩(2)

予選3組

| レーン | クルー名 | 着順 | タイム |
|-----|-------------|----|---------|
| 1 | 福政(北大) | 棄権 | |
| 2 | 佐藤(商大) | 3 | 5'01"70 |
| 3 | 小笠原(札幌 RC) | 2 | 4'30"11 |
| 4 | 増田(わたらせ RC) | 1 | 4'23"44 |

○チャレンジエイト

小樽商大新人

予選4組

| レーン | クルー名 | ハンデ | 着順 | タイム |
|-----|-------------|-----|----|---------|
| 1 | 淡青会マスターズ | 45 | 2 | 2'53"90 |
| 2 | 瀬田・北・商・学園 B | 45 | 3 | 2'59"48 |
| 3 | ALL 茨 Re | 25 | 1 | 2'40"96 |
| 4 | 小樽商大新人 | 5 | 4 | 3'06"37 |

Comment

○岩谷 旭(4)

今回シングルスカルで出場しました。4年目岩谷です。

私自身シングルでのレース出場は丸2年ぶりということで、インカレに向けレース経験を積む目的で出場致しました。

結果的に言うと、2日目が強風で中止になってしまったので一日目のレースのタイムで6位となりました。しかし一日目のレースはのびのびと漕ぐことができ、組順位も1位でフィニッシュすることが出来ました。久々のシングルレースにしてはタイムも漕ぎも悪くなかったのではないかと自己評価です。

また今回の茨戸レガッタは久々の開催ということもあり、招待クルーも多く様々な方々と触れ合うことが出来ました。特に武田大作氏のお話は非常に為になることが多く、刺激を受けた部員も多かったのではないのでしょうか。

今回の大会で得られたものはかなり多かったです。何よりレース経験を積めたのが個人的に大きかったのではないかと思います。今回の経験をインカレに最大限活かしていけるように努力してまいります。

○佐藤 虹歩(2)

今回女子シングルスカルで出場しました、2年目佐藤です。

入部してから初の茨戸レガッタであり、ポートに関わっている人たちの多さを実感しました。

私はレース経験がほとんどなく、昨年全道選手権での女子ダブル以来、2回目のレースとなりました。

また、初のシングルスカルでのレースでもあり、不慣れさが目立ったのと緊張が大きかったです。スタートしてすぐに誰も見えなくなりましたが、逆に大きく焦ることなく漕げたのではないかと思います。自分では、体力の無さやフィニッシュの技術の未熟さを特に感じました。

2日目を経験できなかったのが心残りですが、レース経験を積むことができたことが有難いです。今回の経験を次に活かせるよう頑張っていきます。

○岩間 陽亮(2)

今回、3年若菜と共にダブルスカルで出場した、2年の岩間です。練習ではあまりうまく行かない日々が続きましたが、共に頑張ることができました。レースはオリンピック出場経験がある、武田大作氏と同じブロックでした。課題だったスタートは本番が一番うまくいき、このままいこうと思いましたが、中盤に緊張で力が入りすぎてしまって失速してしまいました。四艇中3位という結果に終わり、また次の順位決定戦も悪天候のため中止となり、とても未練の残る結末となりました。クルー解散後、私はシングルスカルで練習していますが、手応えを感じるが増えてきています。次のレースでは自分の漕ぎを發揮したです。

○小高 亮太郎(1)

こんにちは、1年の小高です。僕は6/25・26に行われた朝日茨戸レガッタにエイトで出場しました。僕ら1年生にとっては初めての大会であり、とてもワクワクしていました。前日には武田大作さんの講演を受ける機会があったり、ボートホルダーとして沢山の漕手の方々にも関わることができたりなど、とても良い経験になりました。肝心のレースは強風のため途中から中止となってしまいました。我々のエイトは予選の800mを漕ぐことが出来ました。先輩2人と漕ぐのは初めてで少し緊張しました。1年生にとってエイトの経験も練習もまだ少なかったですが、全員全力を出し切れました。同じレースの他チームが皆ハンデで遥か彼方を漕いでいましたが、追いつこうと声をかけあって漕いだ良いレースだったと思います。中止後はまた武田大作さんをご指導してくださり、一層ボートへの情熱を掻き立ててくれました。

茨しがの様子です。



1998年卒 森井様、

1967年卒 廣野様より

ポカリスウェットとお米の差し入れ

を頂きました。

ありがとうございました！



監督兼ヘッドコーチ報告

監督 谷津法彦（平成5年卒）

監督報告

☆対北大定期戦(R4.6.12)

2022年のシーズンは過去2年間に比べてコロナ禍による活動制限はだいぶ緩和されたと言っていいでしょう。昨年10月下旬のインカレ以降から簡単に振り返ります。

昨年12月の段階で退部者があり、実働部員はこの時点で7名になってしまいました。コックスも辞めてしまったのは痛かったです。加えて男子漕手が4人ぴったりで故障者が出た場合も考慮すると、2022年は男子がフォアではなくシングルとダブル、女子はダブルという布陣で臨む事に自然と決まりました(ただし女子漕手はその後1名になってしまいました)。

艇庫閉めの後、各自で練習を進めてきた商大ボート部ですが、R3年12月から大学の体育館が使えるようになりました。ただ昔のようにいつ行ってもいい訳ではなく、大学の講義の時間割に沿って各部に割り当てられるというスタイルです。なので一回の練習時間はアップ、ダウン、着替え含めて90分です。終わったらすぐ体育館から退出しなければなりません。ただ学外のOBや監督の出入りは認められるとのことで、2年振りに冬の商大体育館での指導が出来ました。

男子に限って言えば岩谷主将の他に昨年レース経験をほとんど積めていない1年生3名という事で、岩谷主将と誰がダブルを組めるかという図式になりました。ただエルゴタイムでトップだった川村が膝の半月板を痛めている事が分かり、若菜と岩間の2名に絞られる形になりました。

春合宿は行いませんでした。コロナのせいもありますが、この時期就活が入る岩谷の他に経験の浅い1年生によるシングル中心になると安全面で目が届かないからです。

大雪の影響で予定より一週遅れて4/9に艇庫開きが行われ、ほぼ同時期に大学側から合宿所利用可能とのお達しがありました。6人以内という条件付きだそうです。大学のHPから引用すると、大会への参加に際し、「対外試合参加等に係る確認書」の提出が必要なくなったこと
大会参加の際に必要な宿泊について、1人1部屋の制限が緩和されたこと
課外活動前後の会食・飲食について、4人以内とする制限が緩和されたこと
とありました。元に戻ったと言えばそれまでですが、これは大きな前進でした。
それでもマネージャーが居ないのでエッセンは手が空いた部員が交代で作ります。エッセンとマネージャーの有難みをこれほど感じた代は無いです。

そんな中行った新入生勧誘活動では元気のいい1年生が9名入部してくれました(その後なんだかんだで漕手6名、コックス1名の計7名に落ち着いています)。

そんな中、北大戦の対校種目がダブルスカルに決定。主将の岩谷は実力的に確定なので、岩間と若菜のどちらが相方を務めるかを定める事になり、4月下旬にシートレースを行った結果若菜が乗る事になりました(彼は3年生ですが入部したのが昨年4月なので実質2年目です)。

ただこの二人とも腰の状態が万全ではなく、一進一退の練習が続きました。しかし早い段階からユニフォームミティはかなり良く、体格の違う若菜が健気に合わせて漕ぐ事でかなり期待を抱かせるダブルが出来上がりました。途中若菜が濃厚接触者になって10日ほど漕げないという憂き目を見ましたが、再開後もほとんどブランクを感じさせなかったのはさすがです。メニューはほぼ岩谷が考えて万全でない中でも工夫して漕ぐ距離を確保。体の硬さもあつたのでそれ用のストレッチなども取り入れつつ、水上では奥からしっかり体重を乗せる感覚を重視。ワンストロークで長く強く、しっかり進めていく練習を重ねていきました。

ただ2,000mトライアルではあまりいいタイムが出ませんでした。今思えばレースレイトでもう少ししっかり押し続ける技術を身に着けられれば良かったかも知れません。本番はステッキボードを取り付けるロープの不具合で2,000mが直前で1,000mに変更になりましたが、その事で予定よりハイレート勝負になってしまっただけで持ち味が出し切れなかった気もします。

1年生の勝利に関して。まだほんの2か月足らずの漕ぎ手ですから多くの事は言えませんが、北大の新人トレーナーは昨年まで対校で漕いでいた院生3人、それに対して商大は廣中1人。彼女はインカレに出た事ありません。相当なプレッシャーだったと思いますが、選手がしっかり想いに応えてくれたのが嬉しかったです。彼女は新トレとして北大戦2連勝。大したものです。

茨レガは2日も強風の為途中で中止。各クルー1本は漕げたとはいえやはり順位のかかる2本目を経験出来なかったのが残念です。1年生はもちろん女子シングルの佐藤、ダブルを組んだばかりの岩間と若菜に関しては昨年ほとんどレース経験を積んでいないので尚更です。

☆今後について

直近のレースが9/8~11のインカレと言う事になります。

前にも報告しました通り、人数の関係でシングルかダブルしか可能性は無いのですが、1人ないし2人の種目はエルゴ2,000mの記録(男子は6分55秒)をクリアしていないと出漕出来ないという決まりがあり、それを今の商大でクリアしているのが主将の岩谷だけで、他の漕手はインカレまでには厳しいだろうという見立てです。

なのでインカレは岩谷のシングルのみです。

10/21~23の全日本新人戦は1年生でコックス、漕手が7人ですので2年生が2人加わればエイトでの出漕もあり得ます。半月板手術したばかりの川村の復帰が大前提となりますのでまだ断言は出来ませんが、エイトが無理でも付フオアで行く事にはなるでしょう。

北大戦の数日後、北大の大熊コーチが「定期戦は体力だけで勝つようなもの、商大がエルゴ回り出したら怖いと思っている」と言われました。結局は力負け、という根幹の部分はどう対処していくか、しっかり知恵を絞りたいと思います。

ご意見、ご要望などございましたら下記アドレスまでお願いします。

n_tanitsu@yahoo.co.jp

後援会費について

後援会費は、原則として1年で¥10,000 の定額

です。¥10,000 以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会則に則り、満年齢65 歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方の原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、日本信販の自動引落サービスをご利用できます。できる限り多数の OB の方々にご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(若菜海斗)か担当の平成 10 年卒佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908
口座番号:1532438 (普通預金)

北洋銀行 なまえ:オタルシヨウカダイガクソ
ウティブ
店番:341
口座番号:3657349
取引店:小樽中央支店

連絡先: 会計 2年目 若菜 海斗
TEL: 070-4354-2300
MAIL: w.kaito1028@gmail.com

＊個人情報保護の取り組み＊

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

- ・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。
- ・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。
- ・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしくお願いいたします。

連絡先: タイムス班
2年目 佐藤 虹歩
TEL: 090-8427-6066
Mail: rowing1937@yahoo.co.jp